

移住テーマに意見交換

教養大、米の学生迎え授業

秋田市雄和の国際教養大学（鈴木典比古学長）でこのほど、移住をテーマにした授業が開かれた。同大と米国立フォルニア大学バークリー校の学生計9人が、海外から日本に移住してきた人との意見交換などを通じ、移住の際の苦労について理解を深めた。

日米のコミュニティーの在

り方や、人の移動が社会に与える影響をテーマとした「課題解決型科目」の一環で、2014年夏から行い3回目。バークリー校と提携している。今年は先月20日から、米国や移住労働者が多い浜松市などでフィールドワークを行ってきた。

授業では、14年前に来日し、

日本人の夫と結婚したフィリピン出身の保坂チャリーナさん（43）＝秋田市飯島＝の講話に耳を傾けた。保坂さんは「当時は専業主婦で外部との関わりが全くないことがつらかった。一人で悩まずに、県内に住むフィリピン人など、他者に助けを求めるところが重要だと感じた」と話した。

意見交換には、保坂さんら海外からの移住者3人が参加。このうち、中学生の時にフィリピンから来日した教養大2年の飛知和志郎さん（20）は「来日後、周囲と打ち解けるため、内気だった性格を陽気に変えようと努力した」と語り、学生は真剣な表情で耳を傾けていた。

教養大3年の宮城萌依さん（22）＝那覇市出身＝は「海外から移住した人が、苦労して生き抜いてきたことが伝わってきた」と話した。

（本多恒顕）



移住の体験について話し合う学生

秋田市

社会地域報道部

☎ 018-888-1830

FAX 018-823-1780